

発 言 通 告 書 要 旨 (1枚目/全3枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
1	(1)	<p>令和8年度当初予算案について 市税について 来年度の市税収入は、100億円を超える額となっており、前年度から6.9%も増加している。 そこで、各税目別の収入見込みとその根拠を問う。</p>	
	(2)	<p>軽自動車税と地域交通対策費について 来年度の「地域交通対策費」は、約1億5,100万円であり、地域交通利用促進事業費と合わせると、約1億6,500万円である。地域公共交通にかかる費用は軽自動車税の約半分を目安にするという考え方がかつてあったと記憶しているが、令和8年度予算では、軽自動車税の約半分である1億1,600万円と比べると、約5,000万円オーバーしている状況である。「乗合タクシー」と「キャンバス」の運行費の内訳と、今後、ますます費用を増加させるのか、もしくは低減を図っていくのかについて問う。 また、「受益者負担の適正化」の視点から、利用料金の改定を検討しているのかも併せて問う。</p>	
	(3)	<p>「再生プロジェクト」と「事業継続評価」について 「再生プロジェクト」は未来の夢を語る場であり、「事業継続評価」は過去の事業に評価を下す場であると思うが、これらをどのように連動させ、どのように「事業の厳選と磨き上げ」につなげていくのか。</p>	
2		<p>令和7年度の決算見込みについて 3月補正予算案では、市税収入の大幅な増額補正や事業費の精算が行われているが、歳入面の「普通交付税の追加交付」や譲与税や交付金の見込みについて問う。 また、今年度の決算見込みと、それを踏まえた年度末の財政調整基金の残高見込みについて問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (2枚目/全3枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号		発言事項及び発言要旨	備 考
3	(1)	<p>城下町大聖寺の再生について 大聖寺歴史的街なみ整備事業について 錦城小学校を取り囲む形で整備が行われるようだが、グラウンドやコンクリートの校舎には、石畳がなじまないように思う。むしろ、江沼神社と錦城小学校の間の道路整備を優先すべきだと思うが、所見を問う。</p>	
	(2)	<p>大聖寺周遊ルートの形成について 錦城山と江沼神社は、藩政時代の遺構であり、つなげることで歴史を体感でき、魅力の向上にも資するものと考え。両者の間に交流広場を整備することも含め、一帯の全体整備について、コンセプトや概要を示せ。 また、熊坂川の桜並木や大聖寺鴻玉荘、石川県九谷焼美術館までの周遊ルート整備について、所見を問う。</p>	
	(3)	<p>旧京達幼稚園と錦城小学校の建物について この2つの建物は、歴史的な街なみに似合わないと思うが、かつての藩邸跡に小学校が建ち、致し方ない面もあるため、意匠面で何か改善できないか。 また、旧京達幼稚園の建物については、老朽化が著しく、廃墟感すら漂っている。こども育成相談センターの機能を別の場所に移すとのことだったが、移設後の跡地については歴史的な街なみにふさわしい景観づくりが必要だと思うが、所見を問う。</p>	
	(4)	<p>新たな加賀市歴史民俗資料館について 財政難の折、新たなハード事業は慎むべきであるが、この江沼神社庭園と錦城山一帯に新たな加賀市歴史民俗資料館を設置することで、一層光り輝くものになるのではないかと思うが、今後の方向性について問う。</p>	

発 言 通 告 書 要 旨 (3枚目/全3枚)

氏 名 林 俊 昭

発言番号	発言事項及び発言要旨	備 考
4	<p>九谷焼と山中漆器の振興策について</p> <p>九谷焼は、加賀九谷陶磁器協同組合の皆様が積極的に東京都や大阪府などで展示会を開催し、販路拡大を図っている印象がある。一方、山中漆器は、木地の製造が中心であり、大都市圏での出張販売などはなじまないかもしれないが、加賀九谷陶磁器協同組合の積極的な「攻め」の動きを見ると、山中漆器は「守り」や「待ち」の戦術に見えてしまう。2つの業界ともに、「後継者の育成」と「販路拡大の活性化」を目的に市が補助金を交付しているが、これらの戦術の違いについて、市としてどのように捉え、補助事業を通して2大地場産業をどのように導こうとしているのか。</p>	
5	<p>(1)</p> <p>柴山瀉周辺整備事業について (仮称) 柴山瀉公園について</p> <p>(仮称) 柴山瀉公園の整備は、地震や大雨などの際に避難しても本当に大丈夫なのかとの不安の声が寄せられているが、近隣住民の安全・安心の確保に資する事業であると考えている。</p> <p>また、周遊ルートの休憩場所やイベント開催などにも適していると思われる。使い方次第では、新たなにぎわい創生にもつながるのではないかと思うが、整備後の具体的な活用イメージについて問う。</p>	
	<p>(2)</p> <p>(仮称) 柴山瀉湖畔公園拡張事業について</p> <p>隣に広大な防災公園を整備する計画であるにもかかわらず、さらに公園を広げることには疑問を持たざるを得ない。例えば、柴山瀉や中谷宇吉郎雪の科学館の来訪者のための駐車場整備や、路線バスの待合所の移設、新たな視点場の確保など、最小限の費用で整備できる手法が望ましいと思うが、所見を問う。</p>	